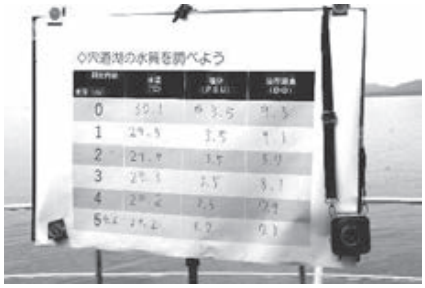
斐伊川・神戸川流域環境マップづくり　2023年報告書

学校名・施設名等　NPO 法人しまね体験活動支援センター
担当者名　岩﨑 知久
対象河川名　宍道湖　　**実施時期**　夏

取り組み状況（湖沼環境の状況、調査での取り組み、指導者等について）

〔参加学年等〕 4～5 年生と保護者　　〔参加者数〕 夏調査 子ども 4 人
【夏の宍道湖（嫁ヶ島付近）調査】8 月 18 日〈天気〉曇り〈気温〉31.5℃〈水温〉31℃
水質判定等の調査は公益財団法人島根県環境保健公社のスタッフ等が指導
〈1 番多かった指標生物〉ヤマトシジミ 73
〈水のきれい度〉ややきれい
透視度 50 ㎝
COD 4 ㎎/L
〈その他の生物〉ユスリカ類 1
貝類 カワグチツボ 80
甲殻類　ナナフシ 2、シマネシロクーマ 2
ヤマトスピオ 50、ウズムシの仲間 1



子ども達の感想

（参加した子ども達の感想）

分かったことは、水温は下にいくと、だんだん水温がさがっていっていること。塩分は 0～4mは同じだけれど、底らへんは 3.7 と塩分があるということ。酸素も水温と同じで、下にいくと酸素がへってきていること。これからはスポーツドリンクなどを流さないようにして、きれいにしていきたいです。（小 4）

わたしは、「宍道湖に行って何をするのかなー」と気になっていて、船にのるとすずしくて、いろいろな松江市のけしきを見ることができました。そしていろいろなたいけんやじっけんができて、とってもたのしかったです。宍道湖のことについてのせつめいはきいていてとても楽しかったです。これでまた一つ経験ちが増えました。ありがとうございました。（小 4）